

【平成 13 年度学会賞・奨励賞の受賞者】

[学会賞]

○足立浩平氏あだちこうへい：甲子園大学人間文化学部助教授（1982 年京都大学卒業 1998 年博士（文学））

（研究内容） 共著「生理指標間の虚偽検出精度の比較」応用心理学研究 No.16, 33-43 1991, 単著「多変量解析による虚偽検出検査の自動判定」応用心理学研究 No.18, 55-63 1993, 共編著『ウソ発見』北大路書房 2000 年 5 月

（推薦理由） ポリグラフによる生理反応結果についての、数理統計解析に基づくコンピュータ判定システムの研究。特に、ポリグラフ検査（ウソ発見）のための自動判定についての業績は高く評価され、現在、全国の警察で足立氏のソフトが使われ、「判定」の有力な資料を得ている。

[奨励賞]

○北川公路氏きたがわこうじ：駒澤大学文学部助手（1999 年 駒澤大学博士課程（後期）修了）

（研究内容） 単著「セルフコントロールによる加齢の効果」応用心理学研究 No.23, 1-8 1998, 単著「加齢による行動変化(1)」駒澤大学心理学論集 2, 117-121 2000, 単著「百寿者の社会・心理的要因 -日常生活動作能力と認知機能-」駒澤大学心理学論集 3, 19-24 2001, 単著「高齢者の背景 -人口・時代背景・教育制度-」駒澤大学社会学研究 33, 71-86 2001

（推薦理由） 加齢の問題を中心とした研究が進められている。最近の研究「高齢者の背景」では、平成 11 年で 65 歳になった人たち（昭和 9 年生れ）を取り上げ、出生、就学、卒業といったライフイベントに対応した「時代背景」を追っている。高齢者を問題とするときは、各人がどのような時代に育ち、経過したかを捉え、「理解」すべきだとする論を展開している。この視点（方法論）は、たとえば高齢者のメンタルヘルスを扱う場合等では有効な知見を提供してくれるものと考えられる。

前号（第 27 巻 第 1 号）に誤り箇所がありましたので、お詫びして訂正いたします。

	誤	正
P17. 英文表題	Behavior	Behavior
P17. アブストラクト 8 行目	them reported that is they started	them reported they started
P75. 学会賞 3 行目	Personal Arrirude	Personal Attitude
P75. 学会賞 4 ~ 5 行目	今日, 社会心理学, 臨床 心理学, 教育心理学, 教 育学, 教育心理学, 日本 語教育等に……	今日, 社会心理学, 臨床 心理学, 教育心理学, 教 育学, 日本語教育学等に ……